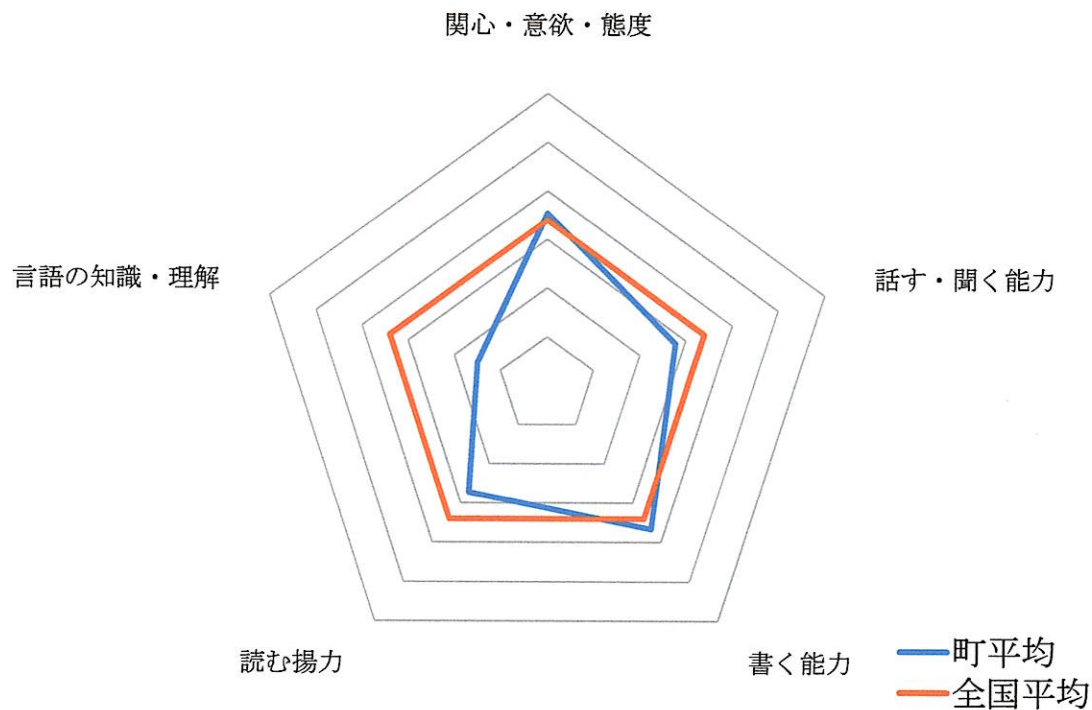
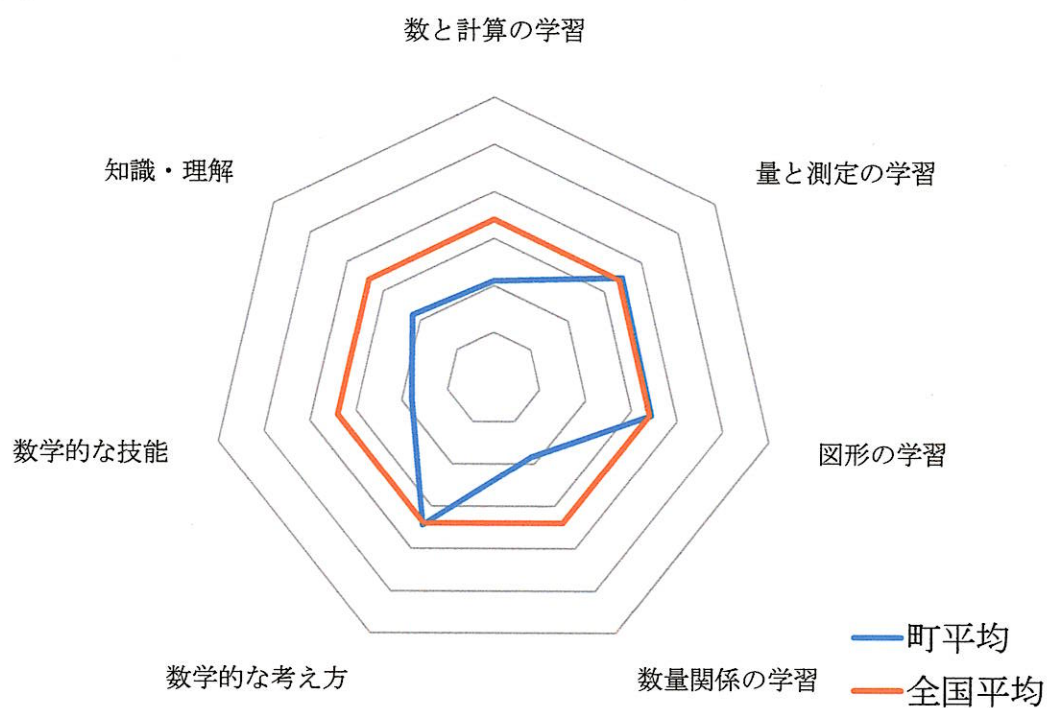


○ 教科に関する調査 (全国平均正答率との差)

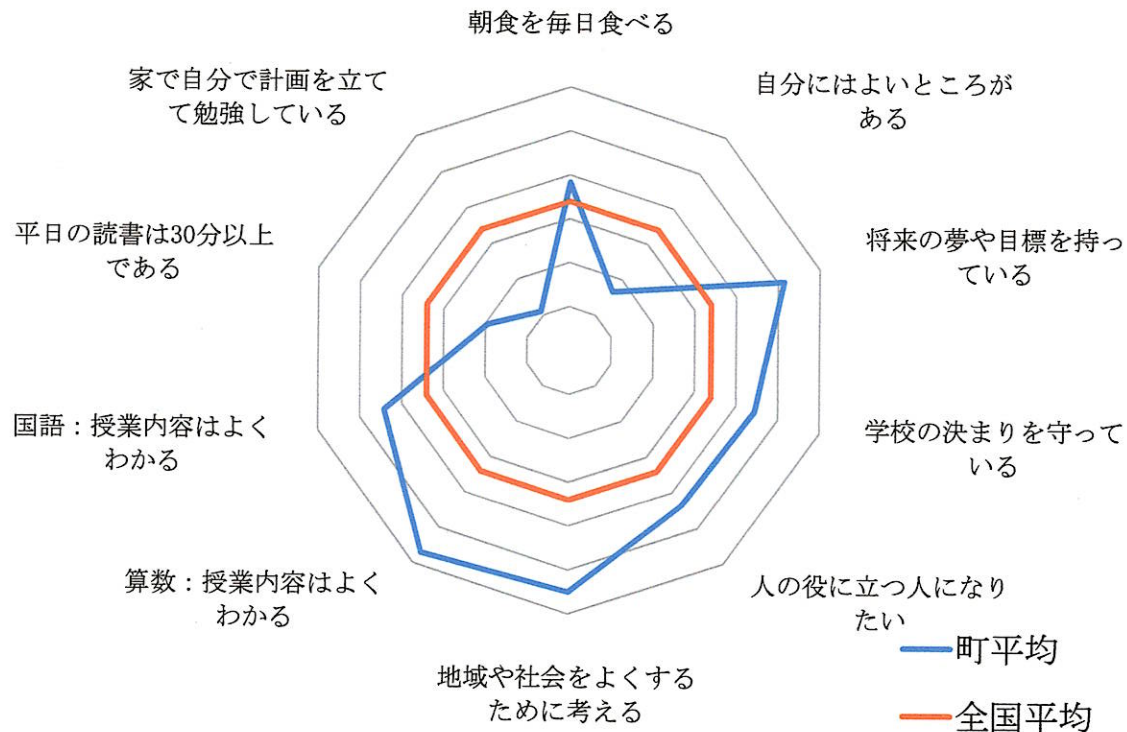
【国語】



【算数】



○ 児童生徒質問紙調査 (全国平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 分析

教科に関する調査では、国語、算数ともに全ての項目で全国平均とほぼ同じか下回っている。特に「知識・活用・理解」の項目での課題が見られる。基礎学力の定着に向けた取組の充実を図る必要がある。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために考える」の項目が全国平均を大きく上回っており、学校・家庭・地域が一体となって児童の育成に取り組んでいる様子がうかがえる。「家で自分で計画を立てて勉強している」、「平日の読書は30分以上である」の項目は、依然全国平均を下回っており、課題であると言える。家庭学習のあり方（自主学習の取りませ方等）を研究していく必要がある。また、更なる読解力向上のために、町の制定した「卒業までに読ませたい本100選」や「みきゅん通帳」を活用した図書館の利用促進を図るなど、児童一人一人に応じた、読書活動の充実を図る指導が望まれる。